



中国情報発信

2015年4月号 - 「Gift Show in 上海」

● Gift Showとは？

年2回、春と秋に上海で開催される「贈り物」関係商品を中心に展示販売する展示会で、中国進出を前向きに検討する日本企業や、内販市場を開拓したい中国企業が多く出展します。今回は3月25日～28日の4日間、上海国際展覧中心で開催され、ジェックは7社の富山企業様を集め、市場調査、現場試食、テスト販売など様々な目的で出展しました。

今日はギフトに関する注意点をご紹介します。



△ジェックブースの様子

中国で贈り物に相応しくないとされているもの

日本と同じように、中国でもお世話になった人、お取引先、友人、親戚、仲間同士の間に、お互いにギフトを贈る習慣があります。ただし、日本と違って、中国では贈ってはいけないものがいくつかあります。

1. 靴(革靴、運動靴を問わず)——靴は、中国語で「鞋」と書き、シェ(XIE)と読みます。「邪」の読みも、シェ(XIE)です。「邪」と同音語のため、靴を贈るのはその人に邪気を送るという意味に取られてしまいます。
2. 傘——傘は中国語で、サン(SAN)と読みます。「散」の読みも、同じく、サン(SAN)です。そのような連想が働くので、傘を人に贈るのは良くないとされています。特に、親友同士が互いに傘を贈ると、今後、袂を分かつ恐れがあるとされています。
3. 掛け時計、置き時計——時計は中国語で「鐘」と書き、ジュン(ZHONG)と読みます。「終」もジュン(ZHONG)と発音します。「時計を贈る」というのは中国語では「送鐘」で、「臨終を看取る」の「送終」とまったく同じ発音です。中国人の習慣からみれば、それは不吉な物となります。とにかく縁起の悪い文字と同じ音の物は嫌われます。これは日本人が「四」という数を嫌うのと同じです。

贈り物に関する数字

日本人は奇数を好み、ご祝儀も3、5万円を出すことが多く、贈り物をする場合も奇数が多いです。中国人は逆に偶数を好み、贈り物をする場合ほとんど偶数です。特に結婚のお祝いは必ず偶数で「対になって、共に白髪になるまで」との意味が込められているので、もし奇数なら何となく不吉に思われます。

ということで日本企業様は外国市場へ進出される前に、その国の習慣や事情など、日本との違いを徹底的に調べた上に、妥当な商品を決めたほうが良いのではないかと思います。

【お問合せ】



皆愛企業管理諮詢(上海)有限公司
株式会社ジェック経営コンサルタント上海事務所
ADD: 中国上海市長寧区遵義南路88号2305室
TEL: +86-21-61157069 FAX: +86-21-61157389

JEC